

第1学年 生活科 学習構想案

期 日 令和〇年〇月〇〇日 (〇) 第〇校時

場 所 1年〇組教室

指導者 教諭 〇〇 〇〇

1 単元構想

単元名	「ひろがれ えがお」		
単元の目標	○家庭生活に関わる活動を通して、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かる。 ○家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家族のことや自分でできることなどについて考えることができる。 ○家庭生活に関わる活動を通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとする。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	家庭生活について調べたり、自分の家庭生活を振り返ったりする活動を通して、家庭での生活は、互いに支え合っていることが分かり、家庭での自分の役割に気付いている。	家庭生活について調べたり、自分の家庭生活を振り返ったりする活動を通して、家庭での家族のことやそのよさ、自分でできることなどについて考えている。	家庭生活について調べたり、自分の家庭生活を振り返ったりする活動を通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとしている。
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
家庭生活をよりよくするために取り組んだことを生かして、家族の笑顔を増やせるように自分にできることを続けたり、挑戦したりしようとする児童			
単元を通じた課題		本単元で働かせる見方・考え方	
家族のみんなが笑顔で生活できるように、自分にできることはどんなことだろう。		家庭生活において、それぞれのよさや果たしている仕事、役割があること、それらと自分との関わりに気づき、互いに支え合っていること、自分の家庭を構成している大切な一人であることがわかること。	
指導計画と評価計画（10時間取扱い 本時 5 / 10）			
過程	時間	学習活動	具体的評価規準 ★は、記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	3	○家族を笑顔にするために、自分ができることについて考える。 ○家庭での生活を振り返り、家族がしていること、自分がしていることについて調べる。 ○家庭生活中、家族や自分がしている家の仕事について絵や文で表現する。	【知】ノート・発言 ○家庭生活には、それぞれの果たしている仕事や役割があることが分かっている。 【思】ワークシート・発言 ○家族のことや自分がしていることについて表現している。
二	4	○家庭生活の中で、自分にできることや家族が喜んでくれるようなことについて考える。 ○自分にできることや挑戦したいことを、友達同士で教え合う。【本時】 ○自分でできることや挑戦したいことを決めて、計画を立てる。 （家庭で実行）	【知】ノート・発言 ○自分でできそうなことを集めている。 ★【思】ワークシート・発言 ○家庭生活における役割を考え、自分にできそうなことを試しながら、「挑戦したい「しごと」」を考えている。 ★【主】ワークシート・発言・活動 ○家族を笑顔にするために、うまくできるように計画をし、練習をしたり、コツを聞いたりしている。
三	3	○家で取り組んだ自分でできることや挑戦したことを発表する準備をする。 ○家で取り組んだことや挑戦したことを実演や絵、文等で表現し友達に伝える。 ○これからも続けていくための計画をする。	★【知】ワークシート ○家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付いている。 ★【思】ワークシート・交流 ○家庭で取り組んだことを振り返りながら、友達と交流している。 ★【主】ワークシート・発言 ○自分でできることを続けることや生活リズムや健康についても気を付けて生活しようとしている。

2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所							
小学校学習指導要領 学校、家庭及び地域の生活に関する内容	内容（2）家庭と生活						
教材・題材等の価値							
本教材は、家庭生活を振り返ることで、自分でできていることやできるのにしていないこと、家族に支えてもらっていることに気付き、家族に感謝する心をもつとともに、家族の一員として自分にできることに取り組んでいこうとすることに適している。							
本単元における系統							
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>1年「いくぞ がっこうたんけんたい」 学校や通学路を探検し、施設とその役割、人々との関わりについて考える。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;"> <p>就学前 服の着脱 おもちゃの片づけ 家庭でのお手伝い など</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>1年「もうすぐ 2年生」 1年を振り返り、自分の成長と支えてくれた人に感謝し、2年生への意欲をもつ。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; margin: 10px auto;"> <p>1年「ひろがれ えがお」 家庭生活を振り返り、家族の一員としての自分の役割に気付き、家族を笑顔にすることについて考える。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; margin: 10px auto;"> <p>2年「これまでのわたし これからのわたし」 成長を支えてくれた人への感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもつ。</p> </div>							
児童の実態（単元の目標につながる学びの実態）							
<p>■本単元の学習に関する意識の状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>調査内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族がいてよかったと思うことは、どんな時ですか。 ・みんなで旅行に行った時 ・勉強を教えてもらった時 等</td> </tr> <tr> <td>家での生活で、自分でできることをしていますか。 ・している 人 ・ときどきしている 人 ・頼まれたときしている 人 ・していない 人</td> </tr> <tr> <td>家での生活で、自分でできることは、どんなことをしていますか。 ・洗濯たみ ・皿ならべ ・茶碗洗い 等</td> </tr> <tr> <td>家での生活で、自分でできそうな仕事は、どんな仕事ですか。 ・風呂掃除 ・洗濯もの干し ・部屋の片づけ 等</td> </tr> <tr> <td>家族が笑顔でいるためには、どうしたらよいと思いますか。 ・手伝いをする 等</td> </tr> </tbody> </table> <p>■考察（例） 家での仕事（お手伝い）については、いろいろな役割があり、頑張っている児童が多い。一番多い仕事は、配膳や食器の片づけである。少ないものは、雑巾等を使つての掃除である。 児童は、「自分の仕事」「家族のためにしている」というよりも、「お手伝い」という意識が強く、自分の仕事だから責任をもってするか家族のためにするという考えには、至っていない児童が多い。</p>		調査内容	家族がいてよかったと思うことは、どんな時ですか。 ・みんなで旅行に行った時 ・勉強を教えてもらった時 等	家での生活で、自分でできることをしていますか。 ・している 人 ・ときどきしている 人 ・頼まれたときしている 人 ・していない 人	家での生活で、自分でできることは、どんなことをしていますか。 ・洗濯たみ ・皿ならべ ・茶碗洗い 等	家での生活で、自分でできそうな仕事は、どんな仕事ですか。 ・風呂掃除 ・洗濯もの干し ・部屋の片づけ 等	家族が笑顔でいるためには、どうしたらよいと思いますか。 ・手伝いをする 等
調査内容							
家族がいてよかったと思うことは、どんな時ですか。 ・みんなで旅行に行った時 ・勉強を教えてもらった時 等							
家での生活で、自分でできることをしていますか。 ・している 人 ・ときどきしている 人 ・頼まれたときしている 人 ・していない 人							
家での生活で、自分でできることは、どんなことをしていますか。 ・洗濯たみ ・皿ならべ ・茶碗洗い 等							
家での生活で、自分でできそうな仕事は、どんな仕事ですか。 ・風呂掃除 ・洗濯もの干し ・部屋の片づけ 等							
家族が笑顔でいるためには、どうしたらよいと思いますか。 ・手伝いをする 等							

3 指導に当たっての留意点

- 自分にできる仕事について考えさせることを通して、家族の役に立ちたいという気持ちをもたせる。
- 家族のよさや、家族の一員として役に立っていることを自覚できるように、学級便りや保護者かで単元のねらいや学習内容を家庭にも事前に知らせ、協力を依頼する。
- 自分でできることの中には、規則的な生活や食生活についても考えることができるようにする。
- 家庭の独自性を尊重し、各家庭のプライバシーに十分配慮した計画をする。

4 本時の学習

(1) 目標

「〇〇名人」のコツを見つけたり尋ねたりし、上手になる練習することを通して、自分にできそうなことや挑戦したい仕事を考えている。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される子供の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	10分	<p>1 課題をつかむ。</p> <p>① やってみたい家での仕事について、確認をする。</p> <p>◇この仕事を上手になって、家の人を喜ばせたいな。</p>	<p>○前時からの学習の流れから、児童の意欲を引き出す。</p> <p>○なぜ、上手になりたいのかの気持ちを前時の児童の活動から思い出させる。</p>
		<p>【めあて】「〇〇名人」からコツを見つけたり尋ねたりして、「いえのしごと」がじょうずになろう。</p> <p>②どんなことを教えてもらおうとよいか確認する。</p> <p>◇洗濯物のきれいなたたみ方は、どんなコツがあるのだろう。</p> <p>◇お風呂の洗い方は、どんなコツがあるのかな。</p> <p>【学習課題】 「〇〇名人」になるためのコツは、どんなところだろう。</p>	<p>○上手になりたいという気持ちから、どんなことを教えてもらおうとよいかを問う。</p> <p>○友達のどんなところを見るとよいかを考えさせる。</p> <p>○「〇〇名人」の友達のどんなところに気がつけるとよいかコツを見つけ、教えてもらいながら上手になっていくよう意欲をもたせる。</p>
展開	30分	<p>2 課題の解決に向けて活動する</p> <p>① 家でやってみようと思う仕事について、「〇〇名人」のところで上手になるコツを見つけたり、尋ねたりしながらやってみよう。</p> <p>◇洗濯たたみは、えりのところをきれいにしているな。どうしたらいいか聞いてみよう。</p> <p>◇片付け名人になるためには、かごの中にわけていれたり、本の向きを同じに並べたりするといいです。</p> <p>◇やってみよう。難しいな。もう一回聞いてみよう。</p> <p>○いくつかの「〇〇名人」のところへ行き、練習をする。</p> <p>②いくつかの「〇〇名人」を体験して練習し、気付いたことをまとめる。</p> <p>◇せんたく物を干す時には、しわをのばすこと。バランスをとること。</p>	<p>○友達に教えてもらうグループと教えるグループ2つに分ける。 (個に応じた支援)</p> <p>○声かけができている児童を例にあげる。</p> <p>○どんなところに気付いたか尋ねる。</p> <p>○何度も繰り返し練習をしている児童をほめる。</p> <p>○時間を決めて、いくつかの仕事を経験できるようにする。</p> <p>○友達同士で、上手になるコツを尋ねたり教えたりすることで、より上手になりたい、家族に喜んでもらいたい気持ちをもつことができる。</p>
		<p>【期待される学びの姿】 上手にできるためのコツを見つけ、試しながら、家でもできるように繰り返し練習をしている。</p>	<p>【具体の評価規準】 思考・判断・表現</p> <p>○自分にできそうなことを試しながら、挑戦したい「しごと」を考えている。 (方法：観察・発言・ワークシート)</p> <p>【到達していない児童への手立て】</p> <p>○試しながら、コツに気付けるように声をかける。</p>
終末	5分	<p>3 学習のまとめ、振り返りを行う。</p> <p>新たに収集した「仕事」のコツを整理し、自分の感想を入れながらまとめる。</p>	<p>○めあてと課題を照らして行き、学習のまとめをする。</p> <p>○どんなところに気付いたかを共有する。</p>
		<p>【まとめ】せんたくたたみは、たたむ順番を考える。しわをのばし、えりをきれいにおるとよい。</p> <p>◇早く、家でやってみたいな。</p> <p>◇家の人に、喜んでもらえるようにしたいな。</p>	<p>○はやく家でもやってみたいという気持ちにできるようにする。</p>

【板書計画】

ひろがれ えがお

めあて

家族のみんなが笑顔で生活できるためには、自分にできることは、どんなことだろう。

○○名人

○○名人

○○名人

○○名人

○○名人

○○名人

まとめ

【ICT活用計画】

教師による教材定時の計画や児童の活動の記録

例：家でしている「自分のしごと」を撮影して流す。

例：家で取り組んだことを写真に写し、紹介する。

例：友達同士で教え合っている様子を撮影して活用する。

など